

○第1次-1の学習活動

【ねらい】

- ・ハンセン病やハンセン病問題の歴史について理解する。

【育てたい資質・能力】

- ◎知識的側面（ハンセン病についての知識・理解）

【展開（1時間）】

学習活動	●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
<p>① 本時の学習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ハンセン病がどのような病気なのかを理解しよう。</p> </div>	<p>●映画『もののけ姫』で登場するハンセン病患者について紹介する。</p>
<p>② 教師の解説を聞き、ハンセン病やハンセン病問題について、ワークシート1 ①②に記入する。</p> <p>【ハンセン病とは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染力が弱い。 ・現在は特效薬がある。 <p>【ハンセン病の歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者を強制的に収容し、療養所から一生出られなくする政策が行われた。 ・治療薬が開発されたが、患者の隔離政策はそのまま続いた。 	<p>●「ハンセン病の向こう側（厚生労働省）」（P.1～P.2）を解説し、ワークシート1 ①②に記入させる。</p> <div data-bbox="1007 907 1362 1153" data-label="Image"> </div> <p>https://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/01/h0131-5.html</p>
<p>③ 「知っていますか？ハンセン病問題（【YouTube】国立ハンセン病資料館作成）」を視聴し、元患者の気持ちについて、ワークシート1 ③に記入する。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=5GgIcVND9LI</p>	<p>●元患者の気持ちを考えさせるとともに、隔離政策などの問題点についておさえる。</p> <p>●国の政策によって、人生が変わってしまった人たちの存在に気付かせる。</p>
<p>④ ハンセン病がどのような病気なのかを説明する文章をワークシート1 ④に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・らい菌によって感染する病気で、かつて日本では感染者を隔離するなどの施策が行われていた。 ・本来は感染力が弱く、現在は特效薬で治る病気である。 	<p>◎ハンセン病について、文章で説明ができる。</p> <p>【知識】</p>
<p>⑤ 本時を振り返り、ワークシート1 ⑤に感想を書く。</p>	

○第1次-2の学習活動

【ねらい】

- ・ハンセン病元患者への差別の実態について知る。

【育てたい資質・能力】

- ◎知識的側面（ハンセン病元患者への差別の実態について）
- ◎技能的側面（想像力、他者の思いを感知する感覚）

【展開（1時間）】

学習活動	●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
① 本時の学習内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ハンセン病元患者への差別の実態について知ろう。 </div>	
② ハンセン病元患者に対する様々な差別の事例を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・偽名を使うことを強要された。 ・入所者の家族も、学校や職場で差別を受け、中には婚約を破棄される方もいた。 ・平成 15 年に、ハンセン病元患者という理由でホテル側が宿泊を拒否する事件が起きた。（資料1） </div>	●差別事例について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・孫に会わせてもらえなかった。
③ 元患者側、ホテル側の双方の気持ちを考え、ワークシート2①に記入する。 【元患者の気持ち】 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ断られるのか ・悲しい、くやしい ・もう病気は治っているのに 【ホテル側】 <ul style="list-style-type: none"> ・もしかしたら感染するかも ・他のお客さんが気にするかも 	●今日の社会においてもハンセン病に対する差別や偏見が存在していることをおさえる。 ●一方的ではなく、それぞれの立場で考えさせる。 ◎元患者、ホテル側の気持ちを想像できている。 【技能】
③ 問題の原因を考え、ワークシート2②に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ハンセン病への誤解 ・隔離政策の影響 ・自分は感染したくないという不安な気持ち 	●感染症を恐れる不安な気持ちが背景にあることをおさえ、うわさ、偏見にまどわされず、正しい理解をすることが大事であることをおさえる。
④ この時間で学んだことや感じたことを、ワークシート2③にまとめる。	◎ハンセン病元患者への差別の実態について理解している。【知識】

○第1次-3の学習活動

【ねらい】

- ・感染症による差別や誹謗中傷等を許さない態度を養う。

【育てたい資質・能力】

- ◎価値的・態度的側面（偏見、差別を見抜き、解決しようとする意欲や態度）

【展開（1時間）】

学習活動	●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
① 新型コロナウイルスによる感染症に関連する差別事例を知る。	●生徒たちにとって身近な感染症である新型コロナウイルス感染症の、実際に起こった差別事例であることを説明する。（資料2） ☆生徒の身近にも感染者や濃厚接触者が出ていること、また生徒の保護者や親戚の中に当該業種に勤めている人がいないか、配慮する。
感染症による差別をなくすには、どうしたらよいかを考えよう。	
② 差別の原因について個人で考え、意見をワークシート3①に記入する。 ・知らないから怖い ・自分がかかりたくない	●前回の授業（ハンセン病による差別）との共通点に気づかせる。 ・不安 ・正しい知識がない
④ 感染症による差別をなくすには、どうしたらいいか、個人でワークシート3②に意見を書き、その後グループで交流する。 ・正しい情報を知る ・周りに流されないようにする ・陰口を言わない ・不確かなことを広めない ・感染者の立場になる	●自分ができる範囲での具体的な言動について考えさせる。 ☆グループ交流では他の人の気持ちや考えを批判せず、聞くようにする。
⑤ 朗読動画「ウイルスよりも怖いもの」（法務省人権擁護局作成）を視聴し、他校の中学生が書いた意見を知る。 https://www.youtube.com/watch?v=jVnSUao08jc	●感染症による差別は許されないこと、正しい知識と情報をもとに行動することが大切であることに気付かせる。
⑥ 今日の学習で学んだこと、感じたことをワークシート3③に書く。	◎感染症による差別や偏見をなくすにはどうすればよいかを考えられている。【価値・態度】

資料1

ハンセン病療養所で暮らす人たちは、あと1週間後にせまった温泉旅行を楽しみにしていました。1か月も前から旅行の準備をし、一緒に旅行に行く人も行かない人も、ホテルのこと、景色のこと、温泉のこと……顔を合わせれば温泉旅行の話でもちきりでした。

そんなある日、予約していたホテルから電話がかかってきました。

「ハンセン病にかかっていた皆さんが、当ホテルを利用されますと、温泉でもありますし、他のお客様が自分に病気がうつるのではないかと心配されます。それで、ご予約いただいていたのに、誠に申し訳ありませんが、療養所の皆さんは宿泊を遠慮していただきたいのです。」

出典：「参加体験型人権学習指導案集 じんけん4」（熊本市教育委員会作成）

資料2

新型コロナウイルス感染症による差別事例

感染者が、仕事で着用する制服を家族に頼んでクリーニング店に持って行ってもらったところ、感染者の職場にクリーニング店から連絡があり、「コロナの洗濯はできません」「洗濯物を取りに来てください」と言われた。

医療機関で働いているスタッフの子どもが、同級生に「お前のお母さん、病院で働いているんだろ。菌持ってくるんじゃない」と言われた。

マスクをしてアメ玉を口に含みながら買い物していたところ、あやまって飲み込んでしまい、せき込んでしまった。後ろから老夫婦に「お前、コロナにかかっているだろう！（せきして）拡散しているだろうが！」とひどく怒られた。その後、ショッピングカートを足のかかたにぶつけられた。

ワークシート1

()年()組()番 名前()

ハンセン病とはどのような病気なのかを理解しよう。

①【ハンセン病とは】

- 原因・・・「(① らい菌)」に感染する
- 症状・・・手足の(② まひ)、痛い、熱い、冷たいなどの感覚がなくなる。皮膚に病的な変化
- 1873年に「らい菌」を発見したノルウェーの医師(③ ハンセン)氏の名前が由来
- 感染力・・・とても(④ 弱い)
- 治療方法・・・WHO（世界保健機関）がすすめる3種類の(⑤ 飲み薬)を服用
- 早期発見し適切な治療をすれば、(⑥ 後遺症)を残すことなく治る

②【ハンセン病の歴史】

中世～近世	見た目などの特徴から(⑦ 差別)や(⑧ 偏見)の対象にされることがあった。
1900年代～1940年代	患者を強制的に収容し、(⑨ 療養所)から一生出られなくする政策が行われた。
1940年代～1996年 (平成8年)	薬が開発され治療法が確立されたが、患者の(⑩ 隔離政策)はそのまま続いた。
1996年(平成8年)	(⑪ らい予防法)が廃止され、患者隔離政策に終止符がうたれた。

③隔離政策によって、元患者さんはどのような気持ちになったのだろうか？

(動画を見て書きましょう)

- 人間としての生活を送ることができなくて悲しい。
- 人生の楽しみを奪われて悔しい。 等

④「ハンセン病」とはどのような病気か？文章で説明してみよう。

- らい菌によって感染する病気で、かつて日本では感染者を隔離するなどの施策が行われていた。
- 本来は感染力が弱く、現在は特効薬で治る病気である。 等

⑤今日の授業であなたが学んだことや感じたことを書こう。

ワークシート1

()年()組()番 名前()

ハンセン病とはどのような病気なのかを理解しよう。

①【ハンセン病とは】

- 原因・・・「(①)」に感染する
- 症状・・・手足の(②)、痛い、熱い、冷たいなどの感覚がなくなる。皮膚に病的な変化
- 1873年に「らい菌」を発見したノルウェーの医師(③)氏の名前が由来
- 感染力・・・とても(④)
- 治療方法・・・WHO（世界保健機関）がすすめる3種類の(⑤)を服用
- 早期発見し適切な治療をすれば、(⑥)を残すことなく治る

②【ハンセン病の歴史】

中世～近世	見た目などの特徴から(⑦)や(⑧)の対象にされることがあった。
1900年代～1940年代	患者を強制的に収容し、(⑨)から一生出られなくする政策が行われた。
1940年代～1996年 (平成8年)	薬が開発され治療法が確立されたが、患者の(⑩)はそのまま続いた。
1996年(平成8年)	(⑪)が廃止され、患者隔離政策に終止符がうたれた。

③隔離政策によって、元患者さんはどのような気持ちになったのだろうか？

(動画を見て書きましょう)

④「ハンセン病」とはどのような病気か？文章で説明してみよう。

⑤今日の授業であなたが学んだことや感じたことを書こう。

ハンセン病元患者への差別の実態について知ろう。

【熊本ホテル宿泊拒否事件】

- 2003（平成 15）年、県が「ふるさと訪問事業」で熊本市のホテルを予約。療養所の入所者の名簿を FAX で送付。
- 宿泊者がハンセン病元患者であることを理由に、ホテル側が宿泊を拒否する。
- ホテル支配人は「会社の方針」だから受け入れられないと主張。
- 県知事が法務省へ相談。
- ホテル総支配人が世間を騒がせたことに謝罪。

① ハンセン病元患者、ホテル側の気持ちを考えよう。

元患者の気持ちは？

- なぜ断られるのか。
- 悲しい、くやしい。
- もう病気は治っているのに。 等

ホテル側の気持ちは？

- もしかしたら感染するかも。
- 他のお客さんが気にするかも。 等

② なぜ元患者への差別が起こるのだろうか？

- ハンセン病への誤解
- 隔離政策の影響
- 自分は感染したくないという不安な気持ち 等

③ 今日の授業で学んだことや感じたことを書こう。

Blank space for writing answers to question 3.

ハンセン病元患者への差別の実態について知ろう。

【熊本ホテル宿泊拒否事件】

- 2003（平成 15）年、県が「ふるさと訪問事業」で熊本市のホテルを予約。療養所の入所者の名簿を FAX で送付。
- 宿泊者がハンセン病元患者であることを理由に、ホテル側が宿泊を拒否する。
- ホテル支配人は「会社の方針」だから受け入れられないと主張。
- 県知事が法務省へ相談。
- ホテル総支配人が世間を騒がせたことに謝罪。

④ ハンセン病元患者、ホテル側の気持ちを考えよう。

元患者の気持ちは？

ホテル側の気持ちは？

⑤ なぜ元患者への差別が起こるのだろうか？

⑥ 今日の授業で学んだことや感じたことを書こう。

ワークシート3

()年()組()番 名前()

感染症による差別をなくすには、どうしたらよいかを考えよう。

【実際に起こった差別事例】

感染者が、仕事で着用する制服を家族に頼んでクリーニング店に持って行ってもらったところ、感染者の職場にクリーニング店から連絡があり、「コロナの洗濯はできません」「洗濯物を取りに来てください」と言われた。

医療機関で働いているスタッフの子どもが、同級生に「お前のお母さん、病院で働いているんだろ。菌持ってくるんじゃない」と言われた。

マスクをしてアメ玉を口に含みながら買い物していたところ、あやまって飲み込んでしまい、せき込んでしまった。後ろから老夫婦に「お前、コロナにかかっているだろう！（せきして）拡散しているだろうが！」とひどく怒られた。その後、ショッピングカートを足のかかとにぶつけられた。

①このような差別が起こる原因は何だろう？

- ・知らないから怖い。
- ・自分がかかりたくない。 等

②感染症による差別をなくすには、どうしたらよいだろうか？

- ・正しい情報を知る。
- ・周りに流されないようにする。
- ・陰口を言わない。
- ・不確かなことを広めない。 等

③今日の学習で学んだこと、感じたことを書こう。

ワークシート3

()年()組()番 名前()

感染症による差別をなくすには、どうしたらよいかを考えよう。

【実際に起こった差別事例】

感染者が、仕事で着用する制服を家族に頼んでクリーニング店に持って行ってもらったところ、感染者の職場にクリーニング店から連絡があり、「コロナの洗濯はできません」「洗濯物を取りに来てください」と言われた。

医療機関で働いているスタッフの子どもが、同級生に「お前のお母さん、病院で働いているんだろ。菌持ってくるんじゃない」と言われた。

マスクをしてアメ玉を口に含みながら買い物していたところ、あやまって飲み込んでしまい、せき込んでしまった。後ろから老夫婦に「お前、コロナにかかっているだろう！（せきして）拡散しているだろうが！」とひどく怒られた。その後、ショッピングカートを足のかかたにぶつけられた。

①このような差別が起こる原因は何だろう？

②感染症による差別をなくすには、どうしたらよいだろうか？

③今日の学習で学んだこと、感じたことを書こう。